

第 3 回 淡路市都市計画マスタープラン策定会議 主な意見とその対応

No.	主な意見	対応
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ p1 の「一人暮らしの高齢者の増加による町の活力低下」について、一人暮らしが増加すると活力低下になるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「一人暮らしの高齢者の増加による町の活力低下」はアンケート結果に基づいた表現であるが、直接的な因果関係はなく、あくまで要因の一つであるため、表現を改める。 →P38「一人暮らしの高齢者の増加による」を削除
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の呼び名について、古称（西浦、東浦）を大切にすべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合計画の表記に合わせて、東海岸（東浦）、西海岸（西浦）の表現に改める。 →P48(3)②下段（東浦）、（西浦）を追記
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ p12 の広域連携軸について、「洲本市との広域的な連携強化を図ります」と記載があるが、20 年後を考えた場合、淡路島の 3 市が 1 つになると想定し、淡路島一体で取り組んでいくという考え方のもと、南あわじ市も含めた方が良いのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「淡路島地域公共交通計画」においても、3 市一体で交通ネットワークを捉えていることから、それに基づき南あわじ市を含めた表現に改める。 →P49 中段「広域連携軸」に「南あわじ市」を追記
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ p1 に「公園・広場や生活道路等の整備・充実」と記載されているが、そこにはひと昔前の「整備」というキーワードが使われている。実際には都市公園や身近な公園を適切に維持管理できるかも課題であり、場合によっては閉じるという選択肢があってもおかしくないのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園・広場の整備方針については、整備・充実という表現だけでなく、維持管理・再編等の視点を盛り込んだ表現に改める。 →P38【課題】2 項目目に「適切な維持管理・再編」を追記
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ p2 に「自然環境やそれらと調和した淡路花さじき、淡路夢舞台、ニジゲンノモリ」と記載されているが、ニジゲンノモリについてはさまざまな施設が整備されて工夫もされているが、本当に調和しているのか疑問を持つ人もいるのではないか。これは私だけではなく、市民の中でも淡路島公園を愛する会のような団体からも同様の声があると聞いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ニジゲンノモリ」はあくまで公園内の一つのコンテンツであるため、「兵庫県立淡路島公園」に表現を改める。 →P39②【概況】3 行目「ニジゲンノモリ」を削除し、「兵庫県立淡路島公園」を追記
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ p8 の目標人口の考え方について、将来推計人口では、令和 28 年度には 28,000 人となる見込みである一方、目標人口は 31,000 人に設定されているが、人口を増やすことを意図しているのか、あるいは何らかの施策を講じて人口減少の速度を抑えることを考えているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 目標人口は、総合計画で設定されているが、縮小時代において、全国で人口が減少していくという前提のもとで、31,000 人を維持するという考え方で目標を掲げている。これは都市計画マスタープランの範囲で達成できるものではなく、他分野との施

No.	主な意見	対応
		策との連携していくことが必要不可欠である。（回答済）
7	<p>・文字が多く、市民の皆さんが読むことを想定したものになっていない。p1 においては、淡路市が未来に進んでいくことが分かるように図や写真を用いて、市民が読んで理解しやすい内容にしてほしい。</p>	<p>・市民の皆様にも少しでも本計画を手にとって読んでいただけるよう、今後、視覚的な表現等を工夫し、読みやすい計画書に更新させていただく。</p> <p>→ P37-38 に本市の特徴である、「従来からの変化」と「近年の急激な変化」とが平行に進んでいること表にして追記</p> <p>→ P70 課題と改善手法に係るイメージ図の追記</p>
8	<p>・p29 に「近年増加している民泊サービス施設（簡易宿所、住宅宿泊施設）など都市計画制度による立地規制が困難なものについては、地域特性や地域住民の意向等を踏まえ、兵庫県や市による条例、住民の任意協定等による誘導などの手法活用について検討します。」と記載されているが、実際に市として民泊に関して改善策を検討しているのか。また、すでに何らかの取組を進めているのか伺いたい。</p>	<p>・民泊が増えている状況については認識しているが、どのような方法で抑制できるのかについては、具体的な検討はまだ行っていない。一つの都市課題であることは確かなので、都市計画的な視点からどのような対策が講じられるのかについて、今後検討していく。（回答済）</p> <p>→ P67、68 の表中、備考の欄に対応策に係る記述を追記</p>
9	<p>・上水については管轄が異なるが、何らかの記載が必要ではないか。防災の観点で上水について記載しておく必要があるのではないか。</p>	<p>・上水道は淡路広域水道企業団により供給されており、事業ビジョンに基づき進めていくことを記載する。</p> <p>→ P57②、P58(5)に上水道の整備に係る記述を追記</p>
10	<p>・p26 に「漁村の建て替えのセットバック」と書かれているが、これは漁村に現存する建物を建て替える際に、セットバックを行った上で建ぺい率などを考慮して本当に建物を建てられるのかどうか疑問である。換地政策等の手法についても合わせて検討が必要ではないか。</p>	<p>・換地のような事業手法は存在するが、市としては、個別に一軒ごとに代替地を探すまでの対応は難しい。そのため、そのような事業手法も含め、専門家などのアドバイザー派遣制度を活用しながら、地域との対話を重ねながら実現化方策を検討するという趣旨での表現としている。（回答済）</p> <p>→ P97(3)「まちづくり専門家の派遣などの支援策の導入を図りながら地域レベルでのまちづくりが積極的に行われるような仕組づくりを整えていきます」を追記</p>
11	<p>・p29 の「(1) 都市計画区域の見直し」について、都市計画区域に入ること</p>	<p>・今後、都市計画区域の見直し等、本市の課題解決に向けて都市</p>

No.	主な意見	対応
	<p>によるメリットについては書かれているが、デメリットもあるはずだが、その点については全く触れられていない。</p>	<p>計画的手法をあてはめた際の効果などについて、具体的なケーススタディを実施し、整理する予定である。その結果をもとに、今後策定会議等において議論をさせていただく。（回答済）</p>
12	<p>・地域懇談会には移住者の方も含めて、淡路市に関心を持って移り住んでいる方に意識して参加してもらえると良い。また、女性や若い世代の視点も取り入れることが大切だと考える。</p>	<p>・参加者の呼びかけは、現時点では市の広報で行う予定であるが、今後の参加申込状況に応じて、その周知方法等について検討させていただく。（回答済）</p> <p>【実施済み】</p>
13	<p>・地域懇談会チラシ案について、町内会経由の案内では未加入の女性や若年層に情報が届きにくいと、ビジュアル面を強化したチラシやデザイナーの関与などに予算を投じ、市民参加を促す工夫が必要ではないか。従来型の情報発信だけでなく、Instagramの活用や個別の呼びかけなど、多様な方法を検討していただきたい。</p>	<p>・限られた時間ではあるが、デザインの見直しや多様な手法で呼びかけるなどの工夫をしながら参加を募る。</p> <p>【実施済み】</p>
14	<p>・地域懇談会チラシ案について、「在住」に別荘利用者なども含まれるのか疑問があり、地元住民とは異なる視点を持つ人もいる。</p>	<p>・「在住」「在勤」「在学」「その他」の区分のうち、「その他」について、例えば「淡路市に関心がある方」等の表現に改め、より多様な方が対象であることを認識しやすい形式とさせていただく。</p> <p>【実施済み】</p>